

避難先の検討



ひなん
「避難」って
何すれば
いいの？

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。
「避難」とは「難」を「避」けること。
下の4つの行動があります。



市が指定した避難場所 への立退き避難

安全な親戚・知人宅 への立退き避難

自ら携行するもの
・食料、飲料
・スマートフォン
・持病薬
・身分証明書 等

普段から災害時に避難
することを相談して
おきましょう。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。



普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

安全なホテル・旅館 への立退き避難

屋内安全確保

通常の宿泊料が必要
です。事前に予約・
確認しましょう。

ハザードマップで以下の
「2つの条件」を確認し
自宅にいても大丈夫かを
確認することが必要です。

※ハザードマップで安全か
どうかを確認しましょう。

想定最大浸水深

※土砂災害の危険がある
区域では立退き避難が
原則です。



「2つの条件」が確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～4階軒下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

② 水がひくまで我慢でき、 水・食料などの備えが十分

(十分じゃないと…)

水、食料、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります

